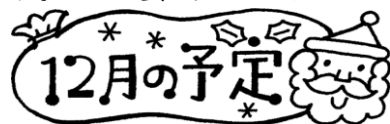




あっという間に師走になりました。先月末に、しずくぐみとにじぐみで一日(半日)保育士を行ったところ、たくさんの保護者さんがご都合をつけて参加してくださいました。今年度はコロナの影響で中止や縮小の行事がほとんどでしたが、その中でも今回は、保護者さん同士が顔を合わせてわが子の園での様子などを見ていただく機会ができ、皆様のご理解とご協力に改めて感謝いたします。

さて、今週の土曜日には“きらきら発表会”があります。今回はそらぐみからたいようぐみまでの子どもたちの出番です。日頃の姿や少し背伸びした姿などを見ていただけるのではないかと思います。どんな姿を見せてくれるのかお楽しみに！



※1 健康診断について

2日(水)に行います。昨日お渡しした『健康診断個人票』にご記入のうえ、明日の朝持ってきてください。

用紙をお渡しするのが遅くなり、大変申し訳ありませんでした。

健康診断結果は、園医さんに記入してもらった後お渡ししますので、受診の必要のある方は、各自かかりつけ医または園医さんに受診してください。

※2 持ち帰りの日について

- ・布団は 28日(月)に持ち帰ります。
- ・28日(月)・29日(火)に必要なものは、必要分をかばんに入れてきてください。

※3 年末希望保育について

希望保育を申し込んでおられる方は、弁当を持参してください。また、この日は延長保育は行いませんのでご了承ください。

～コロナ禍で思うこと～ (参照:コラム そらぷろ)

「今は、ラピュタがなぜ滅びたのか、あたしよくわかる」
一天空の城ラピュターで、ジータが言っていた言葉です。
 Gondolaの谷の歌にあるもの。

『“土に根を下ろし、風とともに生きよう。種とともに冬を越え、鳥とともに春を歌おう” どんなに恐ろしい武器を持っても、たくさんの可哀そうなロボットを操っても、土から離れては生きられないのよ』

私たちは、地球という星に生かされています。私たちは、日本という四季のある国に生まれ、豊かな恵みを受け、日本人としての感性を育んできました。人類は、利便性や合理性を重視して現代文明を作りあげてきましたが、実は、人は土なしでは生きられないことを忘れかけていたように思います。

土に生かされていることを思い出すことで、現代人が忘れてしまっている人間本来にある感覚能力のようなものをもっと発揮できるのではないのでしょうか？コロナ禍で価値観ががらりと変わってきましたが、生きるために何が大切なのか、みんなが考え始めています。

会議も研修もズームでできる時代。都市型から田舎型に生活がシフトするかもしれませんね。

新聞記事に、東京の大学を出てから東京で働き、4代になってお金も儲け、貯えもできて田舎に帰る決心をしたという人のことが載っていました。その人は、都会の生活に疲れ、人恋しくなった。これからは、地域に帰って地域の仲間とともにふるさとを大切にしながら生きていきたいと言われていました。

コロナは、私たちに色々なことを学ばせてくれました。密にならないように人と人との距離をとる。黙って食事を摂る。何だかとても淋しい姿です。わざわざ出向いて行つての会議や研修をするかわりに、リモート会議をとり入れることで、時間や費用を省くことが合理的なやり方だということも理解しました。でも、無駄なものは省き、大切なことは守る。その大切なものは何か？夜遅くまでお酒をのむ必要があるのかないのか。人と人との絆とは？…たくさん考える機会をくれたコロナ。自分を見つめ直すこと。

みなさんも、本当に大切にしなければならないことを考えてみませんか？

(園長 田中:筆)

